

2024年8月27日（火）

老球の細道824号

## ミスだらけの人生

会津バスケットボール協会 室井 富仁

今は亡き映画界のスーパースター鶴田浩二の歌に♪傷だらけの人生♪という名曲があった。「古い奴だとお思いでしょうが、古い奴こそ新しいものを欲しがらるもんでございませ……」の最初の台詞はあまりにも有名である。鶴田浩二は渋くてカッコ良かったので、若かりし頃、良くマネをして口ずさんだものである。現在は本当に古い人間になってしまったので、AIやSNSなどの新しいものには適応できないので欲しがらることもなくなってしまった。しかし、バスケットは今でも新しいことを求めて追及したい。

最近バスケットボールの行事で同じ間違いを2回してしまった。教育（今日行く）と教養（今日用）があつて良かったなんて喜んでいたら、7月に県リフレッシュ講習会の期日を間違えて、日曜日に実施されるのに土曜日に郡山まで出かけてしまい、期日と曜日を事前に確認することを学んだばかりなのに今回また同じ間違いをしてしまった。8月24日（土）に中学校の土日外部指導者による講習会を見学するのに朝一番で若松二中に出かけたら、駐車場には車が1台しかなく体育館は閉鎖してあった。インターネットにある要項を鬼婆に確認してもらったら期日表記が「8月25日（土）」と書いてあった。日曜日には別な行事があったので、確認もせずそれを（土）と決めつけ意気揚々と24日（土）に出かけたのである。

今回は会津若松市だったので前回の郡山まで行ったミスよりはダメージが少なかったが同じ間違いを短期間に2回もしてしまったことに自己嫌悪を覚えてしまった。「もしかしてあの老人性の病気が徐々に私を虫ぼんでいるのだろうか？虫を採り過ぎた天罰か？」。文書の記述が間違っていたとしても、やはり事前に何度も確認をしなかった私のミスである。最近はこのミスだけでなく忘れ物のミスも目立っている。

ところで、バスケットボールにおいては1点を争う接戦のゲームにおいて1本のミスはゲームの勝敗を決する決定的なミスとなる。ミスは誰にもあることであるが同じミスを繰り返すことは許されない。決定的なミスをしないうちにも状況判断（認知—判断—実行）を確実にし、日々事前準備を怠ってはいけない。

バスケットボールのゲームは「ミスだらけのゲーム」であるが、ミスの原因にはスペーシング、スキルの未熟さ、不注意、メンタルの弱さなどがあるが、最も多いのがスペーシングの狭さである。ボールに集まり過ぎて、味方が味方をじゃましたり、ヘルプディフェンスにボールを引っ掛けられるケースが多くなりミスが頻発する。

女子を指導している時に、あまりにもミスプレイが多いので選手達に嫌味と皮肉を言ったことがある。「女子はミスが多いのは仕方がない。敬称に“ミス”がつくからな」。そしたら選手達に次のように言い返された。「男だってミスが多いです“ミスマスター”」。

ミスも「時間」「空間」「人間」の「三つの間（明石家三間）」が影響しているらしい。